

十年後に同期会で会おう!

第六十七回 卒業生同窓会入会式



平成二十七年七月十七日(火)、柏中・柏高同窓会の入会式が、午後一時から柏崎市民ラザ波のホールで行われました。当日は高67回となる新入会員19名が、スーツ姿、振り袖や袴姿、参加し、華やかな雰囲気の中、昨年度卒業生の馬場一輝君の進行が始まりました。

はじめに土田新吾同窓会長(高16回)が「社会に出たら、本部や各支部の会合、同期会に積極的に参加し同窓生としての繋がりを深めて頂きたい」と挨拶されました。来賓の新潟柏会会長の美津雄(高16回)は、「来年から選挙権が与えられる大人の仲間入りだ」と、関西柏会の村

また自立した生活(社会)的責任を果たすために、直ぐに就職も考えなければならぬ。今日から親戚だ」と、また東京柏会の近藤健彦(高12回)は、「東京支部の総会は、毎年夏丸の内由緒ある『日本倶楽部』で開かれる。多くの方の参加を期待する」と、関西柏会の村

田仙二会長(高11回)は、「関西支部には、大学の教授をはじめ法曹界、産業界等に錚錚たる人脈がある。これらの方々と直接話が出来ると同窓会ならではのつながりを感じて頂きたい」と、連絡を密にして同窓会活動に参加された」と、それを盛り上げた。近藤氏の「発声で乾杯の後、昼食と歓談に入り、参加者は、気のあう仲間や先生と和やかに語り合っていました。

高67回 卒業期幹事	◎ 清水 友樹
◎ 渡邊 石田	◎ 片桐 和真
◎ 佐藤 祐弥	◎ 新田 瑞希
◎ 堀井 美希	◎ 堀井 啓太
◎ 吉川 啓太	◎ 吉川 真帆
◎ 吉田 真帆	◎ 代表
◎ 副代表	



土田同窓会長

清水拓真

私は柏崎高校で大変多くのことを学びました。普設の授業、学校生活、部活動として受験勉強。柏崎高校は様々な場面で高いレベルを要求されていたのだと改めて感じました。何事にも諦めず立ち向かっていく精神力、仲間と協力して何かを成し遂げる協調性、人としての常識、礼儀、柏崎高校で築き上げてきたこれらの経験は、これから必ず役に立つと信じています。

私は親元を離れ、大学に進みますが、これから身の回りのことを全て自分でやってみなければなりません。勉強や独り一杯の努力をするつもりです。

これから始まる大学生活に期待と共に不安も多々ありますが、今思い描いている大学生活に近づけるように一杯の努力をするつもりです。

江戸時代初期の柏崎の町や村々

このころ柏崎の石高は、水田が主なもので田畑屋敷等を米に換算して、二六〇石でした。枇杷島村は二五三石、高柳村は二二二石でした。これらの石高をみると、柏崎陣屋の刈羽魚沼での支配高が、七万石余というのは、どれほど多くの村々を管轄していたのかと思わざるを得ません。町の面積は三町、人口は五五〇〇人でした。柏崎地方は多くの砂丘があり、その中の一つ柏崎砂丘の上町ができました。年中

柏崎郷土物語(11) 岩下正雄(高16)

諸藩領 旗本知行地と複雑にあり、不明の箇所もあつた。明治の治四年の廃藩置県の時、はつきりしているのは以下のとおりです。桑名藩領は正明寺の一部、大塚、井岡の各村、権部藩領は十日市、与板藩領

このように幕領、大名領、旗本領が交錯していたので、道路、水利はいへんでした。目と鼻の隣村へも簡単には行けなかつたようでした。

出雲崎が基点の北国街道を通り、越後高田で金沢方面と西通り道より日光寺を通り中山道軽井沢道に至る道の二にわかれます。この北国街道は現在の柏崎市東本町二丁目と諏訪町の交差点あたりで、二方向にわかれました。ここに道標があつて左は長岡へ、右は山に向つていました。これは今、人物資料館館前にあります。左への道、柏崎長岡間の街道は明治十年、地味峠に新道が拓かれるまでは、昔から妙法峠を越え、三島郡宮本へ出たもので、今の刈羽村の南部を通つていました。



株式会社 植木組
取締役会長 植木康之(高15)
取締役社長 植木義明(高23)
新潟県柏崎市新橋二番八号

株会 田写真館
スタッフ一同
柏崎市扇町一八八
TEL 二二一六二四八

株式会社 阿部建設
取締役会長 阿部弘一(高7)
代表取締役 阿部尚義(高35)
TEL 二二一六二四八
FAX 二二一七六八四

小形商工株式会社
代表取締役社長 小形明彦(高16)
TEL 二二一六二四八
FAX 二二一七六八四

東京柏会副会長 今井健子(高13)
TEL 二二一六二四八
FAX 二二一七六八四

柏崎市長峰町七番六号
株式会社 イシザカ
代表取締役 石坂泰男(高35)

本間内科医院
柏崎市長峰町一四八
TEL 二二一六二四八

部活で燃えろ 進路で輝け
新潟産業大学附属高等学校
校長 理事 小野敏夫(高16)
柏崎市安田二五〇一二

かみあわせ 歯科
北澤智昭(高23)
柏崎市長峰町一七・TEL 二二一六二四八

「古稀」ではない、「きんぎょ」よと

第15回生が「古稀の会」

高松第十五回生が六月十四日、産業文化会館ホールで、「古稀の会」を催しました。参加者は男性五十五人、女性十四人、五十嵐勲君が司会をつとめ、午後四時、幹事長の三井田君の挨拶で会が始まりました。

まず、刈羽医師「左藤一明君が「健康寿命」について講演。そして、

先ごろ叙勲された前県知事平山征夫君、元市議会議長の今井元紀君、県立高校校長の小林元四郎君、お祝いの小林を贈り、それぞれが謝辞を述べ、壇上に全員が並び、記念撮影の後、平山君の発声で乾杯し、宴が始まりました。歓談の輪があたり、まさに「あじ」

閉会前に、先ほど撮った記念写真が配られ、名前を記した席順のプリントは、事前に渡されたので、地元幹事連の手厚い心配りに脱帽です。

わが古果の先輩が、先年「古稀の会」を開催し、古稀じゃない。きんぎょだよ。と、古稀の会を催しました。古稀じゃない。きんぎょだよ。と、古稀の会を催しました。古稀じゃない。きんぎょだよ。と、古稀の会を催しました。

運営費納入のお知らせ

(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

◆会費(同窓会運営費)を納めていただき、誠にありがとうございます。
◆会の円滑な運営のため、今後とも皆さまのご協力をお願い申し上げます。

卒業回(卒業年/月)	件数	納入額
29回(昭和8/3)	1	2,000
30回(昭和9/3)	0	0
31回(昭和10/3)	0	0
32回(昭和11/9)	0	0
33回(昭和12/3)	0	0
34回(昭和13/3)	1	2,000
35回(昭和14/3)	5	10,000
36回(昭和15/3)	3	6,000
37回(昭和16/3)	3	6,000
38回(昭和17/3)	5	10,000
39回(昭和18/3)	8	16,000
40回(昭和19/3)	9	18,000
41回(昭和20/3)	13	26,000
42回(昭和20/3)	20	40,000
43回(昭和21/3)	6	12,000
44回(昭和22/3)	17	34,000
45回(昭和23/3)	10	20,000
46回(昭和24/3)	3	6,000

卒業回(卒業年/月)	件数	納入額
25回(昭和48/3)	49	98,000
26回(昭和49/3)	39	80,000
27回(昭和50/3)	57	114,000
28回(昭和51/3)	73	146,000
29回(昭和52/3)	36	72,000
30回(昭和53/3)	50	100,000
31回(昭和54/3)	39	80,000
32回(昭和55/3)	25	50,000
33回(昭和56/3)	28	56,000
34回(昭和57/3)	16	32,000
35回(昭和58/3)	25	52,000
36回(昭和59/3)	24	50,000
37回(昭和60/3)	20	40,000
38回(昭和61/3)	19	38,000
39回(昭和62/3)	12	24,000
40回(昭和63/3)	12	24,000
41回(平成元/3)	15	30,000
42回(平成2/3)	14	28,000
43回(平成3/3)	14	28,000
44回(平成4/3)	12	24,000
45回(平成5/3)	16	34,000
46回(平成6/3)	12	24,000
47回(平成7/3)	10	20,000
48回(平成8/3)	2	4,000
49回(平成9/3)	10	20,000
50回(平成10/3)	7	14,000
51回(平成11/3)	8	16,000
52回(平成12/3)	4	8,000
53回(平成13/3)	10	20,000
54回(平成14/3)	9	18,000
55回(平成15/3)	7	14,000
56回(平成16/3)	9	18,000
57回(平成17/3)	5	10,000
58回(平成18/3)	6	12,000
59回(平成19/3)	14	30,000
60回(平成20/3)	11	22,000
61回(平成21/3)	8	16,000
62回(平成22/3)	9	18,000
63回(平成23/3)	9	18,000
64回(平成24/3)	17	34,000
65回(平成25/3)	11	22,000
66回(平成26/3)	26	52,000
計	2,343	47,710,000

毎月発行の情報誌が8月で200号に

小林英介さん(高34回卒)

ライ化を表現、フォームも変更を繰り返しながら第166号から現在の形になった。

初号でPRしたのはコラム「アップル」。今では文員の仕事、情報機器、複合ネットワーク、オフィス家具、教育機器、内装仕上げ工事までジャンルは大きく変わった。長期間にわたって発行されきた「ぶんぶんニュース」は、一企業の歴史の変遷をたどることも文員の移り変わりも語る。会社の創業は筆製だが本音、今では「会

毎月発行の情報誌が8月で200号に

小林英介さん(高34回卒)

ライ化を表現、フォームも変更を繰り返しながら第166号から現在の形になった。

初号でPRしたのはコラム「アップル」。今では文員の仕事、情報機器、複合ネットワーク、オフィス家具、教育機器、内装仕上げ工事までジャンルは大きく変わった。長期間にわたって発行されきた「ぶんぶんニュース」は、一企業の歴史の変遷をたどることも文員の移り変わりも語る。会社の創業は筆製だが本音、今では「会

日本メッキ工業株式会社
取締役社長 関 矢浩章(高23)
柏崎市田塚三二一六二
TEL 二二一六二四八

原酒造 原 吉隆(高28)
柏崎市新橋五十一二

高橋 巽(高15)
事務所 41 新潟市西二丁目一三番七三
TEL 二二一六二四八
FAX 二二一七六八四

新潟産業大学
学長 北原保雄(高7)
副学長 広川俊男(高20)
事務局長 金子和裕(高26)
〒951-8593 柏崎市新橋川4730

新沢歯科医院 新沢 秀樹(高22)
柏崎市徳波町二番二二

柏崎日報社
代表取締役社長 山田 明彦(高18)

ひまわり歯科医院
ひまわり歯科センター
院長 鈴木 孝一(高30)
副院長 長 晶 徳 浪(高42)
TEL 二二一六二四八
FAX 二二一七六八四

佐藤塗料株式会社
代表取締役社長 佐藤裕幸(高20)
代表取締役社長 佐藤信義(高39)
柏崎市駅前二丁目一四番三三

高野 毅(高30)
事務所 新潟市長峰町一丁目三番〇号
TEL 二二一六二四八
FAX 二二一七六八四

株ライブ商事 中古車 販売・整備
代表取締役 品田 優(高16)
柏崎市長峰町一四番六七号